

PAT-NO: JP406297900A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06297900 A

TITLE: DECORATIVE MOUNTING FITTING TO BE
USED FOR TRAY, BOWL OR
GLASSES AND DECORATIVE IMPLEMENT

PUBN-DATE: October 25, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ISHIDA, KAZUHISA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ISHIDA KAZUHISA

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP03111230

APPL-DATE: February 20, 1991

INT-CL (IPC): B44C005/00, A44B021/00 , A47G019/00 ,
A47G019/22

ma no

ABSTRACT:

PURPOSE: To simply decorate various types of decorative articles including a flower pot by employing both a decorative article mounting fitting detachably connected to a peripheral edge of a tray, bowl or glasses of a tableware by utilizing an attraction force of a magnet to an iron plate and a decorative implement.

CONSTITUTION: (1) A decorative mounting fitting has a U-shaped engaging unit
1 directed substantially lateral, oblique, reverse, etc.,

to be stably
detachably engaged with a peripheral edge 3 of a tray, bowl
or glasses and a
magnet 2 provide at an outside of the unit 1. (2) With the
structure (1), a
decorative mounting fitting separates the unit 1 from the
magnet 2, and
connects the unit 1 to the magnet 2 by a movable support
arm. (3) A decorative
mounting fitting has, in the fittings of (1) and (2), an
iron plate 5 instead
of the magnet 2. (4) A decorative implement has an iron
plate 5 at a
decorative article 4. (5) A decorative implement has the
magnet 2 provided at
the article 4. A method for using it has the steps of
engaging the fitting
with the edge 3, and detachably connecting the implement to
decorate the
article 4.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-297900

(43)公開日 平成6年(1994)10月25日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 4 C 5/00	G	9134-3K		
A 4 4 B 21/00				
A 4 7 C 19/00	M	7137-3K		
19/22	S	7137-3K		

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平3-111230

(22)出願日 平成3年(1991)2月20日

(71)出願人 591101401

石田 量久

千葉県千葉市天戸町1464-3 八千代台ハイッ710号

(72)発明者 石田 量久

千葉県千葉市天戸町1464の3八千代台ハイッ710号

(54)【発明の名称】 皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具および装飾具

(57)【要約】

【目的】食器具である皿・鉢・グラス類の周縁部(3)に、マグネット(2)と鉄板(5)の吸着力を利用して着脱自在に接続する装飾物取付具と装飾具を併用し、花器を含む各種の装飾物(4)を簡単に飾ることである。

【構成】

1 皿・鉢・グラス類の周縁部(3)に着脱自在に安定してはまるほぼ横・斜・逆等の方向をしたU字型のはめ込み部(1)とその外側部にマグネット(2)を設けた装飾物取付具。

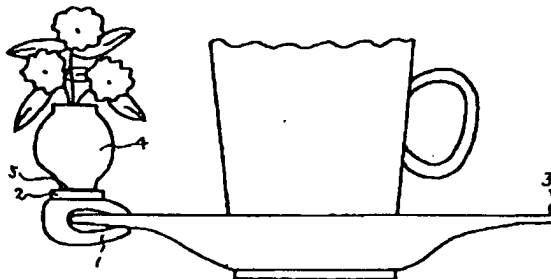
2 上記1の構成において、はめ込み部(1)とマグネット(2)とを離し、両者を可動自在の自在支持アーム(7)で接続した装飾物取付具。

3 上記1・2の装飾物取付具において、マグネット(2)に代わり鉄板(5)を設けた装飾物取付具。

4 装飾物(4)に鉄板(5)を設けた装飾具。

5 装飾物(4)にマグネット(2)を設けた装飾具。

使用方法是、周縁部(3)に装飾物取付具をはめ、それに装飾具を着脱自在に接続して装飾物(4)を飾る。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 皿・鉢・グラス類の上部周縁部(3)の一部分に着脱自在にかみつくように安定してはまるほぼU字型をしたはめ込み部(1)とその外側部にマグネット(2)を設けたものである、はめ込み部(1)とその外側部に設けたマグネット(2)からなることを特徴とする皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具。

【請求項2】 はめ込み部(1)とマグネット(2)を離して間隔をおき両者を可動自在の自在支持アーム

(7)で接続構成したものである、請求項(1)記載の皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具。

【請求項3】 マグネット(2)に代わり鉄板(5)を設けた装飾物取付具である、請求項(1)または請求項(2)記載の皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具。

【請求項4】 装飾物(4)に、請求項(1)または請求項(2)のうちいずれか1項に記載の装飾物取付具に付いているマグネット(2)との接続に適合する位置・サイズで鉄板(5)を設けたものである、皿・鉢・グラス類に用いる装飾具。

【請求項5】 装飾物(4)に、請求項(3)に記載の装飾物取付具に付いている鉄板(5)との接続に適合する位置・サイズでマグネット(2)を設けたものである、皿・鉢・グラス類に用いる装飾具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、食器である皿・鉢・グラス類の上部周縁部(3)に花器を含む各種の装飾物(4)を簡単に飾ることができるようにした、皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具および装飾具に関するものである。皿・鉢・グラス類とは、コーヒー皿・一般食器皿・茶托・盆・鉢・小鉢・どんぶり・すし桶・ボウル・各種グラス等をいう。

【0002】

【従来の技術】従来の皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具および装飾具は、昭和63年実用新案登録願第123340号により本出願人と同一人が出願しているが、その構成の要は、はめ込み部(1)とそれに接続する肉厚部に穴を上下に貫通させるものか筒を設けた装飾物取付具であった。そして、その穴または筒に装飾物の底部に特別に設けた突出棒を差し入れて、装飾物を皿・鉢・グラス類の上部周縁部に飾り付けるものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明が解決しようとする課題は、マグネット(2)が鉄板(5)を吸着する力を利用して、周縁部(3)にはめ込む装飾物取付具と装飾具とを着脱自在に接続することである。この結果、種類の装飾物取付具と装飾具を必要に応じ、また任意に取り替えられることとなる。これにより、従来の技術において述べた、装飾物に突出棒を設ける製造上の煩

わしさが省けるし、また突出棒を有するがための整理・収納上の不便さも解消される。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明にかかる皿・鉢・グラス類に用いる装飾物取付具および装飾具は、上記の課題を解決するもので次ぎのようなものである。第一に、皿・鉢・グラス類の上部周縁部(3)の一部分に、着脱自在にかみつくように安定してはまるほぼU字型をしたはめ込み部(1)と、その外側部に設けたマグネット(2)からなることを特徴とする装飾物取付具である。はめ込み部(1)は周縁部(3)にはめ込んだとき横から見た形がほぼ横・斜・逆等のU字型であるが、ある程度弾力性を有する材質を用いた方が周縁部(3)をかむように安定してはまる。その場合、開口部(6)をいくぶん狭くしたり場合によってはほとんど接触しているようにしてもよい。第二に、上記はめ込み部(1)とマグネット(2)を離して間隔をおき両者を可動自在の自在支持アーム(7)で接続構成したことを特徴とする装飾物取付具である。この手段により、多様な周縁部(3)の角度を有する多種の皿・鉢・グラス類にこの種類の装飾物取付具で適応できる汎用性を有することとなり、加えて、マグネット(2)に吸着した装飾物(4)を一定の範囲内で自在の方向や高さに調整できる利点がある。第三の手段は、はめ込み部(1)の外側部またははめ込み部(1)と離して設けたマグネット(2)に代わり、鉄板(5)を設ける構成とした装飾物取付具である。鉄板(5)は接着剤付きのシール状にして用いると装着に便利である。第四の手段は、花器を含む各種の装飾物(4)に、請求項(1)～請求項(3)のうちいずれか1項に記載の装飾物取付具に設けたマグネット(2)または鉄板(5)に適合する位置・サイズで、鉄板(5)またはマグネット(2)を装着した装飾具である。請求項(1)～請求項(3)のうちいずれか1項に記載の装飾物取付具に、マグネット(2)と鉄板(5)の吸着力を利用して着脱自在に取り付けることができる皿・鉢・グラス類に用いる装飾具である。つまり、皿・鉢・グラス類の周縁部(3)に、装飾物取付具を介して装飾物(4)を飾り付ける、鉄板(5)またはマグネット(2)を装着した装飾具である。

【0005】

【作 用】まず、はめ込み部(1)を、例えばコーヒー皿や料理皿や小鉢やすし桶あるいはワイングラス・ジュースグラス等の上部周縁部(3)にかむようにはめ込んで、本発明による装飾物取付具全体を周縁部(3)に安定して保持する。次に、装飾物取付具にあるマグネット(2)に、装飾具に付いている鉄板(5)を吸着させて、周縁部(3)に美術的あるいは一般的装飾物や花器等の装飾物(4)を保持して飾る。また請求項(3)にある装飾物取付具の場合は、マグネット(2)の代わりに鉄板(5)が付いているので、この場合は装飾物

3

(4)の適当な箇所にマグネット(2)を付けた装飾具とし、そのマグネット(2)と装飾物取付具の鉄板(5)を接続して、周縁部(3)に装飾物(4)を飾る。装飾物(4)が美術物・一般装飾物の場合はそのまま飾り物として作用し、装飾物(4)が花器の場合は、その花器に生花が長持ちする水や延命剤液を入れて生花を差し入れて飾る。もちろん、花器そのものが装飾物(4)の場合もある。また、装飾物(4)が箸置状の場合は箸置・ナイフ置・フォーク置としても用いられる。さらに、装飾物(4)が平面的で中央部がいくぶん凹んでいる場合は、各種の調味料・香辛料等を置いたり入れたりして、それらを周縁部(3)に保持する作用もある。

【0006】

【実施例1】実施例(1)を第1図・第2図・第3図および第4図に基づいて説明する。これらの図面に示す構成や作用・効果が本発明にかかる装飾物取付具および装飾具の基本的実施例であるので、以下それらについて説明する。本発明の装飾物取付具は、食器である皿・鉢・グラス類の上部周縁部(3)に着脱自在に安定してかむようにはまるくちばしのような役目をするほぼ横U字型のはめ込み部(1)と、その外側面の上部にマグネット(2)を設けて構成する。第1図がその基本的構成例を示している。次に上記装飾物取付具と併用する本発明の装飾具は、周縁部(3)に飾りたい装飾物(4)の底面部・側面部など装飾物取付具との接続に適合する箇所に鉄板(5)を設けて構成する。以上の構成による装飾物取付具および装飾具を使用するときは、まず第2図に示すように、はめ込み部(1)を周縁部(3)にはめ込んで、装飾物取付具を周縁部(3)に安定して保持する。次いで飾ろうとする装飾具に装着してある鉄板(5)を装飾物取付具のマグネット(2)に吸着させて装飾物取付具と装飾具を着脱自在に接続する。第3図において、第2図の装飾具(花器)の底面に装着した薄い鉄板(5)を示している。このように使用することにより、装飾物(4)を周縁部(3)に保持することができる。第2図と第4図がその使用状態を示している。上述の構成において、はめ込み部(1)の外側部に設けるマグネット(2)に代わり鉄板(5)を装着し、一方使用する装飾物(4)の底面部等にマグネット(2)を装着する構成にしてもよく、このマグネット(2)と鉄板(5)を逆に付ける構成は、本発明にかかるすべての実施例に適宜応用されるとよい。生花(せいか)を飾る場合は、第2図が示すように、花器の底面にある鉄板(5)を装飾物取付具のマグネット(2)に吸着させ、その花器の中に生花が長持ちするための水または延命剤液を入れ、そのうえで生花を花器に差し入れて飾ることができる。生花の鮮度を長時間維持する状態で周縁部(3)に飾ることができる効果があり、より広い分野で利用されることが期待できる。また、第4図に示すように、マグネッ

4

ト(2)は固形状またはゴム等と合成してできたシート状のものをはめ込み部(1)の外側面に複数箇所設けると、一度に複数種の装飾具を飾れる利点がある。上述のようにして取り付けられた装飾具の装飾物(4)が箸置状であれば箸置に、平面的で小皿のようなものであれば調味料や香辛料入れにも利用できるし、またろうそくを立ててもよい。また、たとえばコーヒー皿の周縁部(3)に平面的で花状の装飾物(4)を飾りその上に角砂糖等を置くと面白い。加えて、茶托やお盆の周縁部(3)に装飾物(4)を取り付けてもよい。このように、周縁部(3)に花器・生花のみならず様々の美術的・一般的装飾物(4)さらには実用的・提示物的装飾物(4)等を容易に飾り付けることが可能となったことにより、本発明の装飾物取付具および装飾具は飲と食にかかる人間生活を美しくかつ楽しく向上させ、また実用の面でも有用であるので、食器文化に新分野を拓くものと確信する。

【0007】

【実施例2】実施例(2)を第5図および第6図に基づいて説明する。第5図に示すように、はめ込み部(1)の奥底部を凹状に湾曲させ、そこに湾曲したマグネット(2)を装着した構成の装飾物取付具である。第6図に示すように、装飾具が花器のように縦長・筒状であるような装飾物(4)を横づけにして吸着させ取り付けるものである。また、逆に はめ込み部(1)の奥底部を凸状にでっばらして湾曲した面にし、前記同様に湾曲したマグネット(2)を装着してもよい。これには、凹状に湾曲した面を有する装飾具を取り付けることができる。さらに、はめ込み部(1)の奥底部を平面にし平面のマグネット(2)を装着した装飾物取付具にしてもよく、この場合は、平面を有する装飾具をその装飾物取付具に吸着させることができる。

【0008】

【実施例3】実施例(3)を第7図に基づいて説明する。この実施例においては、マグネット(2)の厚み部分を はめ込み部(1)にある程度埋め込んでマグネット(2)の表面を凸出させずはめ込み部(1)の外側面の高さに合わせてほぼ平面にしている。マグネット(2)を埋め込む程度はマグネット(2)の種類・磁力・吸着力を考慮し適宜調整するとよい。この発明にかかるといづれの実施例においても同様に調整するとよい。さらに、はめ込み部(1)の形状を、第7図の場合はハート型であるが、楽しく様々にデザインするとよい。

【0009】

【実施例4】実施例(4)を第8図・第9図・第10図および第11図に基づいて説明する。この実施例の装飾物取付具は、これら4つの図面が示すように、ほぼ逆U字型のはめ込み部(1)を垂直またはそれに近い角度で周縁部(3)に立てて用いるものである。第8図に示すように、マグネット(2)が はめ込み部(1)の底部外側面や側壁外面に装着してある構成の装飾物取付具であ

5

る。周縁部(3)がほぼ垂直である皿・鉢・グラス類にこれを使用する。例えば、大鉢・小鉢・各種皿類・すし桶・ジュースグラス・アイスクリームグラスあるいは盆等に用いるとよい。第9図に示すように、この種の装飾物取付具をすし桶の周縁部(3)にはめて用いた場合は、マグネット(2)に例えば美しい花の形をした小皿状の装飾具を吸着させ、しょうが・わさび・醤油・つけもの等を置いたり入れたりするのに用いるとよい。また第10図に示すように、この種の装飾物取付具をジュースグラスに用いる一例を述べる。装飾具である鉄板(5)を付けた縦長の花器を横側からマグネット(2)に吸着させる。そして、その花器に水または延命剤液を入れて生花を差し入れると、生花(せいか)の鮮度を長時間維持する利点があり加えて楽しい雰囲気テーブル上にかもすことができる。なお、この発明にかかるすべての実施例に適用されるが、周縁部(3)にはめた装飾物取付具に吸着した装飾具の装飾物(4)が箸置状の場合は、その装飾具を箸置・ナイフ置・フォーク置としても用いられる。食事の最中に箸・ナイフ・フォークの先端を皿等の周縁部(3)に置くのは既に習慣になっており、その場合の箸置等として用いると、箸・ナイフ・フォークの先端を安定して周縁部(3)に置くことができ、清潔でありかつ便利である。

【0010】

【実施例5】実施例(5)を第12図に基づいて説明する。この実施例の装飾物取付具は、はめ込み部(1)の材質を銅板・プラスチック等相当弾力を有する材質で作り、かつ、その開口部(6)を狭くクリップ状に形成した構成である。このように銅板等硬い材質で形成した場合は、はめ込み部(1)の内側に柔らかい布等をはると周縁部(3)を傷付けなくてすむ。このような構成にすると、はめ込み部(1)が周縁部(3)をばねの作用でびったりと挟んでしまるので、装飾物取付具全体を安定して周縁部(3)に保持できる。

【0011】

【実施例6】実施例(6)を第13図に基づいて説明する。はめ込み部(1)とマグネット(2)とを離し両者を可動自在の自在支持アーム(7)で接続する構成とした装飾物取付具である。この構成にしたことにより、まず、このはめ込み部(1)が多様な角度をしたすべての皿・鉢・グラス類の周縁部(3)にこの一種類だけで適応可能となる。さらに、このマグネット(2)に各種装飾具の鉄板(5)を吸着させたとき、それら装飾物(4)の方角や高低の位置をある範囲内で自在に調整することができる利点があり、汎用性を有する装飾物取付具である。自在支持アーム(7)を長短いろいろにする一層おもしろい装飾効果が期待できる。なお、自在支持アーム(7)とマグネット(2)との接続は直接またはプラスチック等他材を介してもよい。

【0012】

6

【実施例7】実施例(7)を第14図に基づいて説明する。はめ込み部(1)の外側部にマグネット(2)に代わり鉄板(5)を設ける構成とした装飾物取付具である。この場合、装飾具の側は装飾物(4)にマグネット(2)を装着したものを用いることとなる。つまり、第3図においていえば、鉄板(5)の代わりにマグネット(2)を設ける。

【0013】

【実施例8】実施例(8)は、本発明の主目的である、マグネット(2)と鉄板(5)の吸着力を利用し装飾物取付具と併用して周縁部(3)に装飾物(4)を飾る装飾具について説明する。本発明の目的は、装飾物取付具と装飾具を併用してはじめて達成することができる。その装飾具は、装飾物(4)+鉄板(5)またはマグネット(2)で構成される。つまり、周縁部(3)に飾り付けたい装飾物(4)に、装飾物取付具についているマグネット(2)または鉄板(5)と吸着接続するのに適当であるサイズと位置で鉄板(5)またはマグネット(2)を装着して構成した装飾具である。第2図・第3図・第4図・第6図・第9図および第10図において本装飾具の構成や使用状態を示している。これらの図面においての装飾具は装飾物(4)+鉄板(5)のみの構成になっているが、装飾物取付具側に鉄板(5)が装着してある場合は、装飾物(4)+マグネット(2)の構成となる。鉄板(5)・マグネット(2)は糊付きシート状にすると装着に便利である。この装飾物(4)は、木・竹・陶磁器・ガラス・石・粘土・プラスチック・布・紙等の材質を用いて楽しみと美しさをこめて任意につくればよい。

【0014】

【発明の効果】この発明の効果の第一は、マグネット(2)と鉄板(5)の吸着力を利用することにより、装飾物取付具と装飾具の製作手数が簡単になったことであり、さらに、装飾物取付具と装飾具を、任意にかつ手軽に取り替えられることである。つまり、様々の周縁部(3)角度に適応できる様々の装飾物取付具を用意しておけば、すべての装飾具がそれらに任意に適用できる利点がある。また、実施例(6)に述べたように、はめ込み部(1)とマグネット(2)とを離して両者を可動自在の自在支持アーム(7)で接続する構成の装飾物取付具を用いると、この実施例の装飾物取付具一種類でほとんどの周縁部(3)に適用可能となり、さらにマグネット(2)に吸着させた装飾具の方角や位置を一定の範囲内で自在に調整できる優れた利点を有する。さらに、実施例(7)で述べたように、装飾物取付具に鉄板(5)を、そして装飾具にマグネット(2)を装着した構成においては、はめ込み部(1)や装飾物(4)の材質や大きさ等それぞれに適応して用いられる。また、この発明にかかるすべての実施例に応用されるが、装飾物取付具の大部分を透明にすれば周縁部(3)等が透けて見える

7

ので違和感を緩和するし美しくもみえてよい。これら様々の具体的な機能・効果により、皿・鉢・グラス類の周縁部(3)に、より一層安価・簡単でそして美しくて楽しくかつ実用的な各種装飾物(4)を飾ることができるので、食器文化・食生活文化の向上に画期的に貢献できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例(1)を示す斜視図である。

【図2】実施例(1)の使用状態を示す正面図である。

【図3】第2図の装飾物である花器の底面を示す拡大底面図である。

【図4】実施例(1)の使用状態を示す正面図である。

【図5】実施例(2)を示す斜視図である。

【図6】実施例(2)の使用状態を示す正面図である。

【図7】実施例(3)を示す斜視図である。

【図8】実施例(4)を示す正面図である。

8

【図9】実施例(4)の使用状態を示す一部断面図である。

【図10】実施例(4)の使用状態を示す正面図である。

【図11】実施例(4)を示す正面図である。

【図12】実施例(5)を示す正面図である。

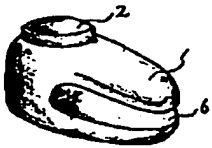
【図13】実施例(6)を示す正面図である。

【図14】実施例(7)を示す正面図である。

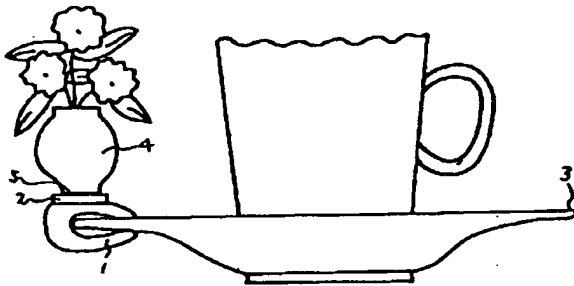
【符号の説明】

- 1 はめ込み部
- 2 マグネット
- 3 周縁部
- 4 装飾物(含花器)
- 5 鉄板
- 6 開口部
- 7 自在支持アーム

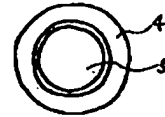
【図1】



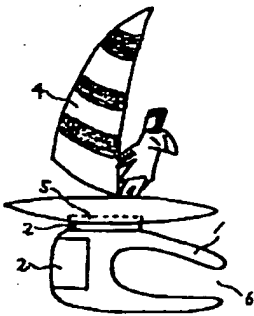
【図2】



【図3】



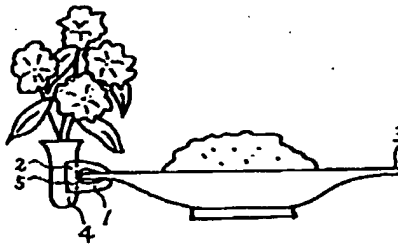
【図4】



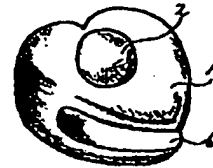
【図5】



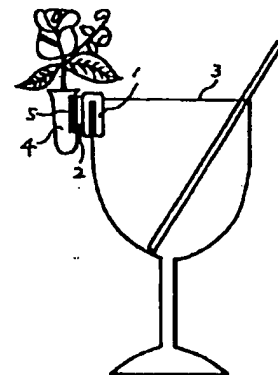
【図6】



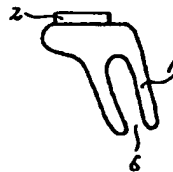
【図7】



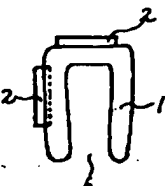
【図10図】



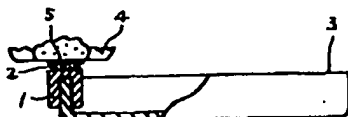
【図11】



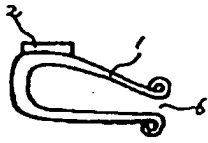
【図8】



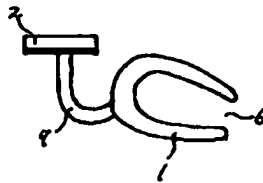
【図9】



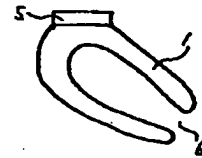
【図12】



【図13】



【図14】



【手続補正書】

【提出日】平成6年2月22日

【手続補正1】

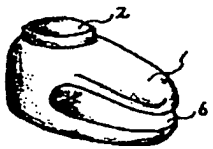
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

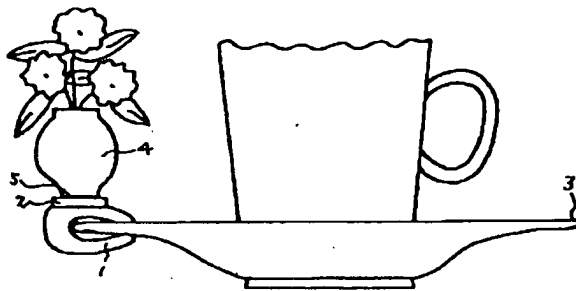
【補正方法】変更

【補正内容】

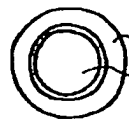
【図1】



【図2】



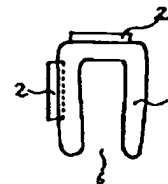
【図3】



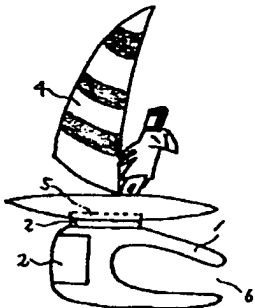
【図5】



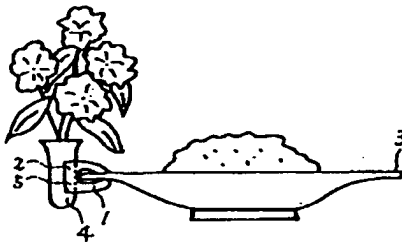
【図8】



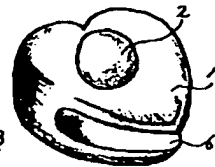
【図4】



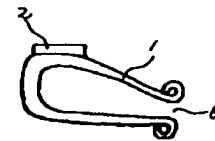
【図6】



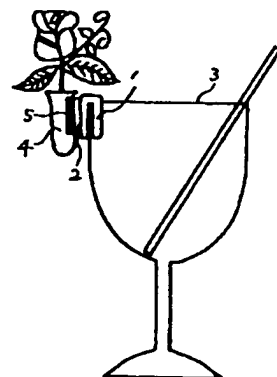
【図7】



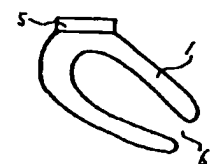
【図12】



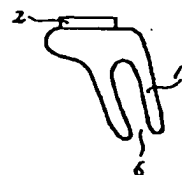
【図10】



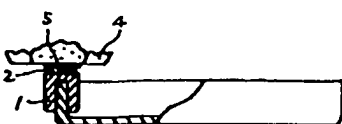
【図14】



【図11】



【図9】



(7)

特開平6-297900

【図13】

